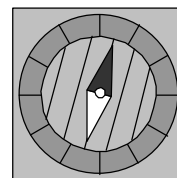


Orienteering Explorer

Internet Site Picking, Produced by Orienteering Magazine Project



Site #4: O - MAPデータベース「地図の森」 <http://www.orienteering.com/~o-map/>

関東では、かつては学生クラブ等の製作によって「トレインガイド」なる冊子が発行されており、練習会や合宿の場所選別に大変役立っていた。ネット全盛の時代、これをオンラインでできないか？という夢を実現してしまったのがこの「地図の森」。図書館情報大の卒業研究の手段として始められたこのデータベースには実に800件弱のO-MAPが登録されている。この春からは orienteering.com に移設し、長期的にO-MAPに関するポータルを目指す。このサイトの主宰者である宮城島俊太さんから話を伺った。



いきなり仕掛け満載！のリストが表紙でお出迎え

オリエンテーリング、それも地図を卒研の題材とするアイデアはどのように思いついたのですか？

私は卒業研究とは「大学4年間で学習してきたものの集大成」だと考えています。しかし大学で頑張ってきたものと言えばバイトとオリエンテーリングくらいなものです。でも卒業するために卒論は書かなくてはならないので、それならオリエンテーリングに関することを研究テーマにしようか、と思ったのです。

私は留年してまして、去年も卒業研究をやろうとしたんです。そのときのテーマは「スポーツメジャー化論」的なことでした。どうすればスポーツがメジャーになるかについて、オリエンテーリングを題材にサッカーや野

球と比較しながら、メディアとの関連性に絡めて書こうと思っていましたが、構想止まりでした。

今年、もう1度卒業研究をやり直すことになったんですが、同じゼミの人が去年和菓子データベースをやっていたのを見て、それならばO-MAPのデータベースでも卒研になるのか？と思ったんです。あと、トレインガイドを読み物として好きだったこともあります。

というわけで、オリエンテーリングを題材とすることはゼミ開始直後(99年12月)に決まり、O-MAPのデータベース作成は去年の2月くらいからですね。

現在出ている内容にまで持ってくるのでも相当な文献をあさったものと思われそうですが、どのくらいの種類を見てこられましたか？

順番が体系的でないのですが、こんな感じです。

1. 自分のマップファイル
2. クラブのマップファイル
3. クラブの先輩のマップファイル

先輩のマップファイルが根本ですね。この先輩は600枚以上のマップを持っているんですよ。自分が行かない大会のマップも行く人に買ってもらうような人です。この人の協力なくして地図の森のデータ量はありませんでした。これらを消化してから初めてトレインガイドに行きました。でも、まだトレインガイドを制覇したわけではありません。

関東近辺以外の地域となると、統一された文献はそう無いはずなので、かなりの苦勞を伴ったのではないかと



マップデータの一例(図情大OLC「知識の森」)

と思います。

情報を集めることよりも情報を入力するのがツライですね。夏場はずっとマップとにらめっこでした。

あとは各クラブのホームページを辿りました。それから、最近北信越O-MAP一覧も手に入れることができました。あと、大高竜亮氏によるパーマネントコースのデータも含まれていますね。

ここまでデータがきちんと整備されると、これを維持するエネルギーも大変なものになりますね。

データ整備は一人では限界があります。始めた当初はここまで大変だとは思いませんでした。マップ画像の取り込みや、今は掲載されていないトレイン近くの施設情報、交通アクセス情報などを調べ、入力するには多人数のチームが必要だと思います。できればそういうチームが発足されるといいのですが。

この場で、サイト維持の協力要請をするとか(笑)そうですね。一緒にやってくれる方、募集中です。興味ある方は o-map@orienteering.com まで是非メールください。過去のO-MAPを保存すると言うことは意味のある重要なものだと思いますので。

今後の展開について何かイメージはありますか？今の段階ではまだ「こんなにたくさんO-MAPってあるんだ、すごいなあ」で終わってしまいます。情報の中身を充実させて、冊子のトレインガイドのように「使える」ものにしたいと考えています。

そのうち、地図を作った団体の方から「登録してくれ」と言ってくるようなメジャーなものにしたいですね。orienteering.com に大会情報がないと認知されないように、地図の森に登録されていないとO-MAPとしてマイナーになってしまうみたいなので、orienteering.comのWEBスペースを借りることができましたし、これから認知度を上げていきたいと思っています。

宮城島さんは図情大OLCのホームページの管理もやってらっしゃいますね。インカレの広告を見ても思う



図書館情報大学OLCのホームページ



4月21日には初めての主催大会を控えている

のですが、きれいなイラストを描く人が多いですね。

個人的見解ですけど、本が好き マンガ・ゲームも好き イラストも好き って感じで、イラスト描く人は多いですね。インカレ要綱などの広告はいつも同じ人です。ホームページはここ3年半以上、僕が管理してます。引継ぎが見つからなくてピンチなんですけど。

聞くとところによると、図情大OLCは、学内では一番規模の大きいクラブだということですが。

多分、というか自称なのかもしれませんが、学部だけで言えば学生数は750人くらいで、そのうちのクラブにいるのは40人くらいです。全学生数の5%ですね。筑波大学が約7500人なので、そこで5%だと400人弱。なんてお馬鹿な計算をよくします。

そういう数字を聞くと大きさがよく分かります。ところで、この4月には初めての大会がありますね。

図情大大会はアップも少なめで爽やかです。併設でトレイルOもありますし、新歓での当日参加も大歓迎ですよ。お待ちしております。

ありがとうございました。卒論の完成と大会の成功を祈っております。

【参考サイト】

図情大OLCホームページ

<http://www.ulis.ac.jp/~m165/olc/>

第1回図情大大会ホームページ

<http://www45.tok2.com/home/ulis/>

大高竜亮さんのホームページ

<http://plaza21.mbn.or.jp/~olpc/>

日本全国のパーマネントコースについて解説。

Text: 佐々木 順(サン・スーシ)

<http://www3.plala.or.jp/junkun/>

E-mail: junkun@orienteering.com

orienteering magazine 2002.04 35